

2013年5月22日

米海軍第7艦隊司令官 スコット・スウィフト中将 殿
在日米海軍司令官 ダン・クロイド少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 デービット・オーエン大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
神奈川県平和委員会
原水爆禁止神奈川県協議会
原子力空母の配備を阻止する三浦連絡会

米海軍横須賀基地の原子力空母ジョージ・ワシントン「定期修理」 にともなう放射性廃棄物の「搬出」強行に強く抗議し、ただちに中止 すること要請する

米海軍横須賀基地を母港としている原子力空母ジョージ・ワシントンは、今年も1月から「定期修理」を行い、本日、放射性廃棄物の搬出を行おうとしている。これまでの過去4回の「定期修理」と「放射性廃棄物の搬出」に対し、横須賀市民や神奈川県民は、放射能汚染事故の危険あるとして中止を強く求めてきた。しかし、米海軍は、この声を無視して「定期修理」を強行し、放射性廃棄物の搬出を強行しようとしている。私たちは、このことに強く抗議する。

原子力空母の「定期修理」及び「放射性廃棄物の搬出」は、エード・メモワール(1964年8月28日・日米外交合意文書)の「…燃料交換及び動力装置の修理を日本国又はその領海内において行うことは考えられていない」「放射能にさらされた物質は、通常、外国の港にある場合は…搬出されることはない」にも、ファクトシート(2006年4月17日)の「燃料交換及び原子炉の修理は、外国で行われない」にも、明らかに反するものである。

「定期修理」の対象には、燃料・炉心に直接つながっている原子炉の一次冷却系設備も含まれている「放射能管理を必要とする作業」も伴うものであることを、日本政府が国会で明らかにしている。これらは、作業員の被ばくや周辺環境への放射能漏れのおそれもある危険な作業である。

このような危険な「定期修理」を、実施したことは、きわめて重大である。

米原子力艦船自体がこれまで何度も重大な事故をおこしている。原潜の「炉心溶融」一步手前の大事故や、1次冷却水漏れで放射性物質が外部に拡散する危険がある事故もあった。横須賀基地を母港とする原子力空母GWと同じクラスの空母ステニスが座礁して、冷却水取水口が目詰まりして原子炉が緊急停止した事故など、重大事故が繰り返されている。

2011年3月11日発生した東日本大震災とそれに伴う福島原発事故により、横須賀市民や神奈川県民は、横須賀に配備されている2基の原子炉を積んでいる原子力空母GWが重大な事故発生、地震や津波のときの空母の原子炉事故の心配などの不安が広がっている。このような中での「定期修理」及び放射性廃棄物の搬出の強行にいっそう不安を強めている。

放射能汚染事故の危険が伴う修理はもとより、放射性廃棄物の搬出は、県民への放射能被害を及ぼす危険があり、エード・メモワールの合意にあるとおり中止すべきである。私たちは、放射性廃棄物の搬出の中止を強く要求する。

横須賀市民はもとより、神奈川県民のくらしと生命を脅かす原子力空母の横須賀母港の撤回を改めて要求する。

以 上